

2024年 冬号 2024 12/1 発行

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-19-8新東京ビル10階
TEL & FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

第11回 JIFA学資支援 ベトナム・ハティン 2024.10.26 各郡学校長・教育訓練局から推薦された学生101名に授与



ベトナム中北部のハティン省において2014年から継続している学資支援は今年で11回目。10月26日に経済的・家庭的に困難で向学心のある中学生や高校生に1万円(160万VND)の学資支援金を授与いたしました。今年は継続62名に、新規に各郡から推薦された学生39名を加え、計101名に学資支援金を直接手渡しし励ました。



日本からはJIFA池田会長、伊瀬理事長、山際監事、岡島理事、木野会員、更井教育部長、ユイ会員（通訳）が参加し、ベトナムからはハティン省教育訓練局、外務局ソン局長、ハティン奨学会会長、長年JIFAと協力関係にあるTHASENCO人材供給会社のソン社長等が参加され、JIFAへの感謝とともに学生への支援や教育の重要性について語りました。

JIFA池田節子会長は「11年間、教育の重要性を信じて若者たちを支援してきました。今年も101名の学生が夢を追い続けられることを心から願っています。」とスピーチ。また、開会の宣言と共に昨年引き続き、『365歩のマーチ』を歌い、軽快なマーチに乗せて力強い歌声で学生たちを応援し会場を盛り上げました。

25日ハティン市のレーピン中学校で「いじめ問題」をテーマにワークショップを行った岡島加夜理事が、「夢を追い続けることの大切さ、強い思いがあれば夢はきっと叶う」とご自身の体験談と共に力強いメッセージを伝え、学生のみならず多くの大人たちも深く聞き入っていました。



池田節子会長



木野会員と岡島理事から学生たちへ

和やかな雰囲気の中、ハム・ギー高校11年生のスアンさんは、「JIFAのみなさまが支援金で応援してくださりとても感謝しています。この支援金のおかげで、夢を諦めずに前に進むことができます。」と、学生を代表し喜びのスピーチと共に歌を披露しました。また、昨年引き続き、バクニンの大学に通う元支援学生のリンさんから支援学生に向けた励ましの言葉がありました。さらに、東京で介護職に従事しているタオさん、ハティンの日本語学校を卒業後大分県で就労しているタイさんからのビデオメッセージも上映され、「努力を続けていればいつか夢は叶います」とメッセージ。会場にいる学生たちは頷きながらハティンの先輩たちからの言葉を噛み締めている様子でした。

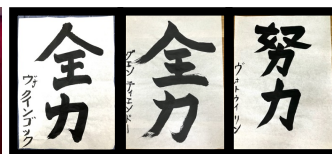


左から スアンさん、リンさん
タオさん、タイさん

感動と希望に満ちた式典で、この取り組みが次世代に続くことの重要性をあらためて感じることができた授与式でした。JIFAは今後も若者たちが夢を追い続けられるよう支援活動を続けてまいります。今回の授与式を無事開催できたのは、ひとえに支援して下さる皆様のおかげです。心より深く感謝申し上げます。

書道の優れた作品を表彰 JIFA作品展

授与式の文化交流プログラムでは、JIFA教育部主催の作品展においてハティン在住ベトナム人による優秀な書道作品3点が選ばれ、受賞者には会長池田より賞状と記念品が贈られました。受賞者の喜びと共に会場は終始和やかな雰囲気になりました。今回のプログラムにおいて、授与される学生たちと主催者、支援者、そして地域社会の人々が一体となる場となりました。



JIFA作品展入賞者（左から）
金賞：ウォ・クイン・ゴックさん
銀賞：グエン・ティエン・ドーさん
銅賞：ウォ・トウイ・リンさん

ベトナム ハティン市 レービン中学校で ワークショップ「いじめのない社会・学校 を作ろう」を開催！

10月25日、ベトナムの学資支援授与式の日程に合わせ、ハティン市にあるレービン中学校において、JIFAの岡島加夜理事が「いじめのない社会・学校を作ろう」をテーマにワークショップを行いました。「いじめの根底にあるものとは」「目に見えない感情の仕組み」などを楽しく解説。質疑応答もあり、近年ベトナムでも社会問題になっている「いじめ問題」を解決に導くワークショップに、学生たちも真剣に聞き入っていました。岡島理事からワークショップを含め、今回のベトナムツアーについての感想が届きましたのでご紹介します。

■ベトナムツアーに参加させて頂いて

岡島加夜（兵庫県芦屋市在住）



レービン中学校の生徒、教師らと共に

岡島加夜理事

JIFAの支援活動がハティン地区で10年を迎え、更なる飛躍が始まるタイミングで今回のベトナム訪問に参加できましたこと、とても嬉しく思っています。今回のツアーで私は、地元のレービン中学校で「いじめのない社会・学校を作ろう」というワークショップを開催させて頂きました。

これは、私が現在勤めている㈱ミロス・インスティチュートが国内でこれまで展開してきた「出前授業」の内容を、ダイジェスト版でベトナム用に作成したJIFAオリジナルのワークショップ。今回は、いじめっ子といじめられっ子の関係性を紐解く場面を、ベトナムでも人気のアニメ「ドラえもん」のキャラクター“のび太とジャイアン”を引用し資料を作成したこともあり、参加いただいた生徒の皆さんは終始笑顔で聞いてくださいました。

通訳は、現在静岡県にお住いのJIFA会員のユイさんが有休休暇を取ってベトナムに駆けつけてくださいました。出発前からパワーポイントを用意しベトナム語に翻訳、後部の生徒にも見えるようにと伊瀬理事長がスライドをラミネートで加工し、更井先生は現地とのヒアリングシートや細かな機材の確認作業…本当に連日沢山のスタッフにお力をお借りし実現したワークショップでした。

体育館に用意された横断幕には、JIFAや関係団体のロゴと並んで弊社のロゴも入れて頂き感動しながらふと見ると…現地でコーディネートをしてくださったTHASENCO（タセンコ人材供給会社）のロゴと弊社のロゴが酷似!?これには驚きと共に何かこれから始まる深いご縁を感じずにはいられませんでした。

今、ベトナムでは、いじめの問題が深刻化しているとの政府の発表もあり、今回の出前授業は、これから様々な地域でお役に立てるのではないかと手ごたえを感じました。

多くの関係者の皆様のご協力のもと、校長先生や各担任の先生、そして生徒の皆さん合計138名の参加を頂き大成功となりました事、心からの感謝を添えてご報告いたします。

また、学資支援授与式で何より感動したのは、支援をさせて頂いている学生やご家族に直接お会いして学校の事、家族の事、そして将来の夢…様々なお話しが聞けた事です。

授与式では、僭越ながら私からも一言スピーチをさせて頂きました。

少しでもこれからの時代を担う若い彼らに手渡せる言葉がないかと出発前からあれこれ考えていたのですが、やはり凡人の私には実体験をもとに「なぜ私がJIFAの支援活動をしているのか？」という想いをお伝えするしかありませんでした。

私の活動の原点は、若い頃、助けて頂いた方に恩返しをしようとした時「これは次の支援が必要な人に渡して欲しい」と言われ衝撃を受けた…あの体験からです。体感した事は、いつまでも心の中で宝物として輝き続け、いつでも誰かに分け与える事ができるものです。今回、実際に彼らと同じ時間を共有し「あなたも誰かにして頂いて嬉しかった事は、ほかの誰かにしてあげてね」とスピーチさせて頂いた時、支援を贈りに行ったはずの私の胸の中には、同時にお金では到底手に入れない事ができない、たおやかな愛のエネルギーが跳ね返って来るのを感じました。

JIFAの活動は、決して一方通行ではありませんね。次回はずいぶん、多くの支援者の皆様にもツアーに参加して頂き体験と感動を共有したいと願っています。

会員・寄付者・支援者 募集しています

一人でも多くの方に会員になっていただき、活動へ参加いただけるよう 皆様をお誘いください！

	入会金	年会費(一口)
法人会員	30,000円	30,000円
個人正会員	10,000円	10,000円
個人賛助会員	5,000円	5,000円
学生会員	500円	1,000円

入会・学資
支援等申込
フォーム



※支援金 学資支援 (1口 10,000円/年・人)
ウクライナ支援 (任意)

会費・支援金等は振込口座をご利用下さい

口座名：特定非営利活動法人 日本国際親善協会
☆ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行 記号10150 普通98253761
☆他の銀行からゆうちょ銀行 店番 018 普通 9825376
☆三井住友銀行新宿通支店 店番 661 普通 7274362



認定NPO 日本国際親善協会 (JIFA)

〒160-0023 新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階

TEL & FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

